

管内証券会社(21社)の平成28年9月期決算の概要【速報集計値】

管内証券会社 21 社

減収（営業収益 26.8%）・**減益**（当期純損益 61.4%）

（前年同期比）

営業収益は 85 億円減少の 232 億円（26.8%）

前年同期と比べ、株券委託手数料および受益証券関連手数料が減少したことから、受入手数料が減少。

一方、前年同期と比べ外国債券の販売が好調であったことから、トレーディング損益が増加。

販売費・一般管理費は 18 億円減少の 246 億円（7.0%）

取引減少に伴う取引関係費及び人件費が減少。

経常損益は、62 億円減少の 9 億円（赤字化）

当期純損益は、37 億円減少の 23 億円（61.4%）

（管内証券会社（21社）の黒字会社は、17社から11社へ減少）

（単位：億円）

	26年9月期	27年9月期	28年9月期	前年同期比	増減率
営業収益	308	318	232	85	26.8%
受入手数料	221	245	164	80	32.8%
うち株券委託手数料	121	135	96	38	28.4%
うち受益証券関連手数料	88	81	54	27	34.0%
トレーディング損益	59	42	47	5	13.8%
うち株券等トレーディング損益	24	14	13	0	6.1%
うち債券等トレーディング損益	34	27	34	7	26.0%
金融収益	27	29	19	10	34.8%
販売費・一般管理費（ ）	256	265	246	18	7.0%
営業損益	46	46	18	64	赤字化
経常損益	52	53	9	62	赤字化
当期純損益	57	61	23	37	61.4%

期毎に社数の変動があるため、26年9月期及び27年9月期の計数については、28年9月期の21社ベースで比較しています。その結果、これまでに当局が公表した計数とは異なる場合があります。

【お問合せ先】財務省近畿財務局
理財部証券監督第1課 TEL:06-6949-6367



管内証券会社の平成28年9月期 決算の概要 (参考資料)

平成28年12月22日
近畿財務局



はじめに

▶近畿財務局管内に本店を置く証券会社(21社)の平成28年9月期決算について、とりまとめを行いましたので公表します。

管内の証券会社(各府県別、金融商品取引業登録番号順)

【大阪府内】

永和証券、エース証券、岡安証券、プレジアン証券、光世証券、岩井コスモ証券、高木証券、内藤証券、日の出証券、ひびき証券、広田証券、池田泉州TT証券

【京都府内】

西村証券、丸近証券、都証券、六和証券

【兵庫県内】

相生証券、篠山証券、播陽証券、光証券

【奈良県内】

奈良証券

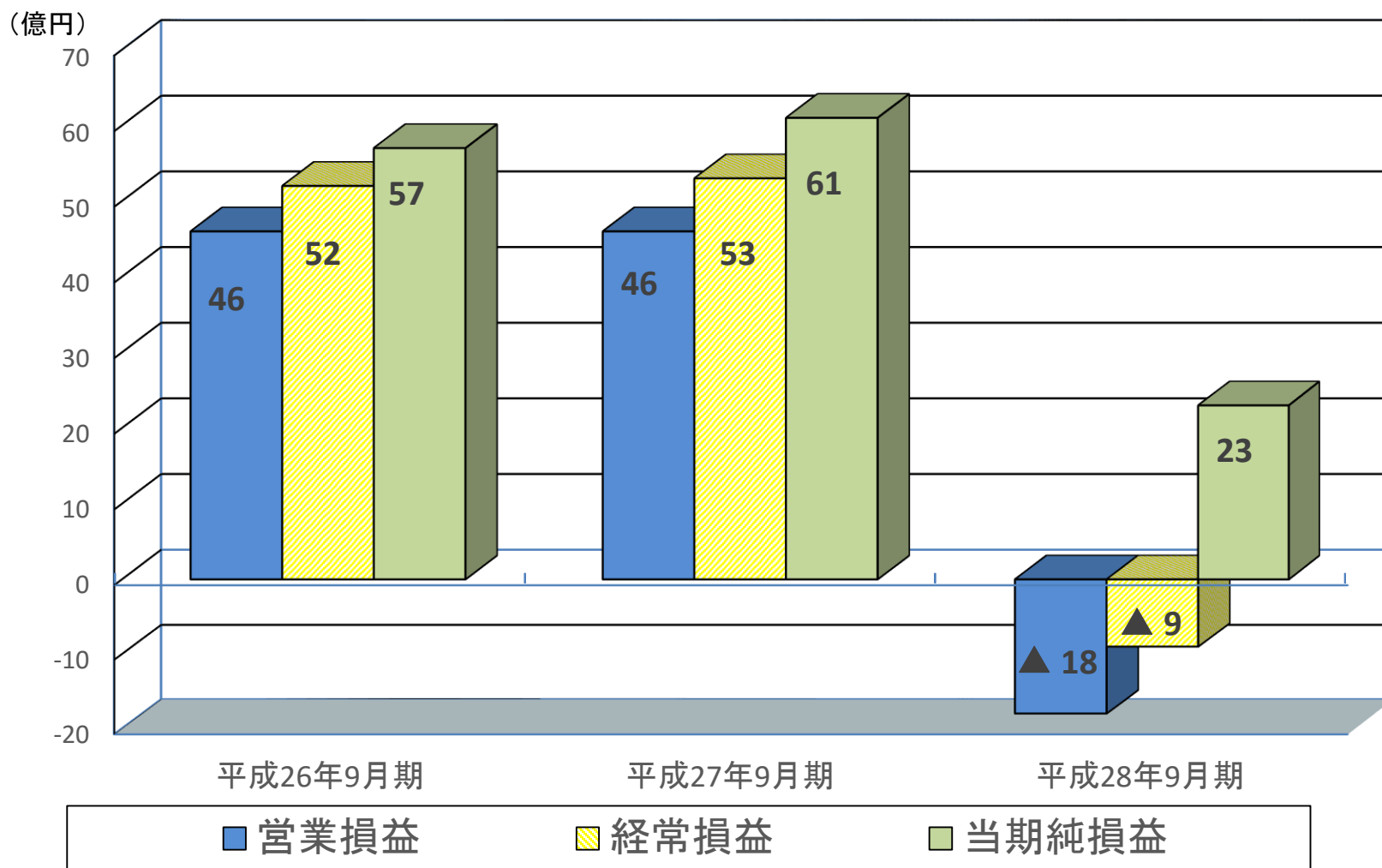
- ※ 各計数は、当局調査に基づく暫定の計数(単体ベース)を集計したものであり、今後変動する可能性があります。
なお、期毎に社数の変動があるため、26年9月期及び27年9月期の計数については、28年9月期の21社ベースで比較しています。その結果、これまでに当局が公表した計数とは異なる場合があります。
- ※ 億円未満を切捨てで表示しておりますので、計数は必ずしも一致しません。
- ※ 「全国」の計数は、全国の証券会社のうち金融庁長官の指定する証券会社(大手・外国証券等)以外の証券会社の集計値です。

(営業収益の項目説明)

- ※ 株券委託手数料:株券の委託売買に係る手数料
- ※ 受益証券関連手数料:投資信託の募集等に係る取扱手数料及び信託報酬
- ※ トレーディング損益:自己の計算により売買した有価証券等の取引損益
- ※ 金融収益:信用取引収益(自己融資の受取利息及び品貸料)、受取配当金・受取債券利子等

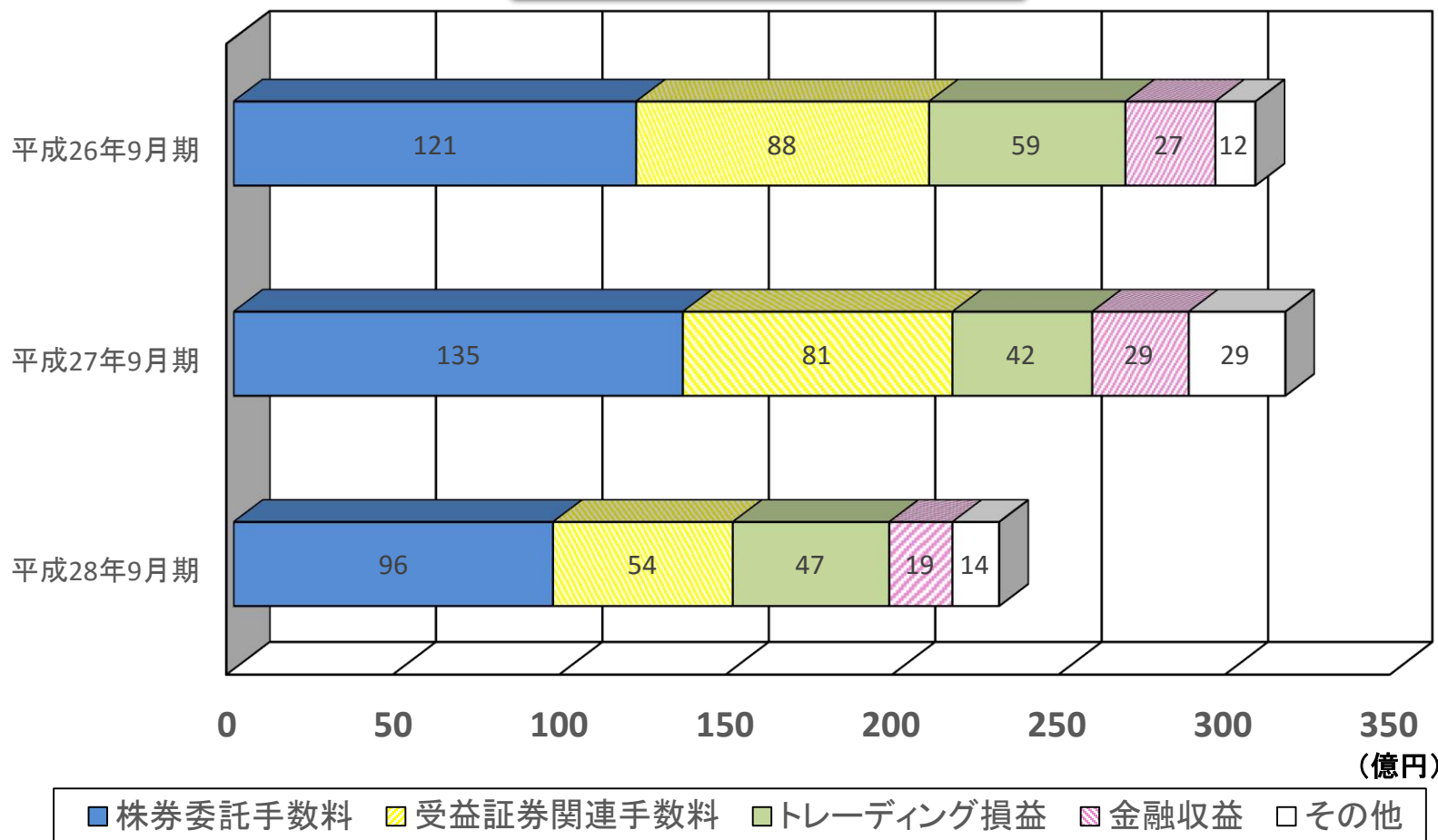


営業損益、経常損益及び当期純損益の状況



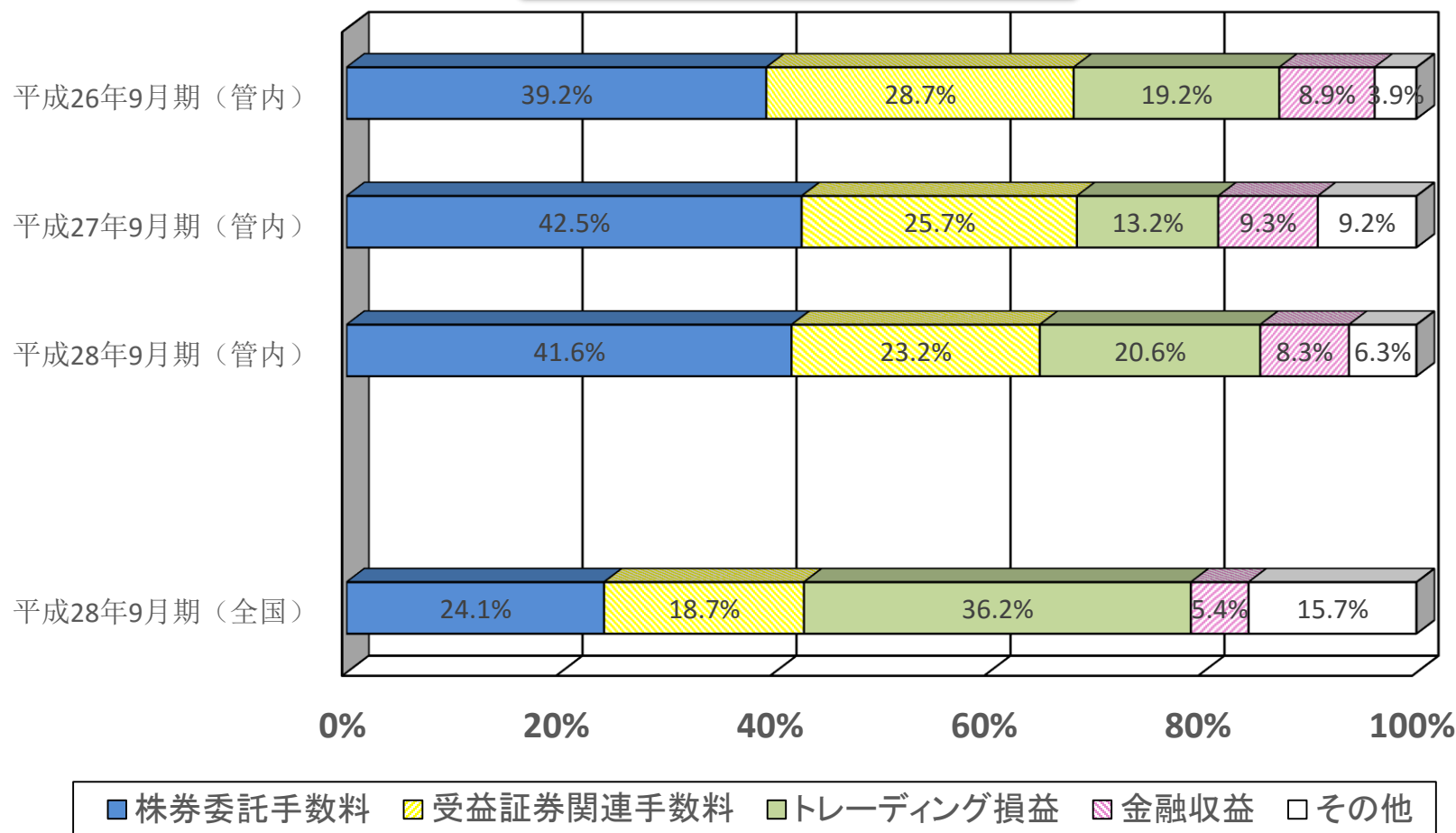
営業収益の状況

営業収益内訳金額の推移



営業収益の構成状況

営業収益の構成割合の推移



販売費及び一般管理費の状況

販売費及び一般管理費内訳金額の推移

